

どんな会社？



株式会社エルデック / 酒田市 / 環境衛生事業・水質保全事業



人間と自然のよい関係を 未来へつなぐという使命。

— 会社の歴史について教えてください。
1970年4月、株式会社酒田浄化槽センターとして当社はスタートしました。創業当初は、下水道設備のない住宅の浄化槽の維持管理が主要事業でしたが、時代とともに下水道設備の普及が進み、それに伴い事業範囲を少しずつ拡大し現在に至ります。

— どのように事業範囲を広げてきたんですか？

まったく違う分野ではなく、もともとの事業の関連分野を開拓してきた感じですね。具体的には、水質保全・分析・管理など水に関わる分野、廃棄物の収集・運搬・処理・リサイクルによる堆肥の製造販売など廃棄物に関わる分野、排水関連の設備や装置の維持管理・清掃・建設工

事など水関連施設に関わる分野などが、事業分野となります。少し異色なものとして、産業用の電気集じん機的设计・製作・施工・維持管理の事業がありますが、広い意味で環境保全関連の事業という位置付けで取り組んでいます。

— エルデックと社名を変えた理由、社名に込めた思いを教えてください。

Q. 新入社員に求めることは？

元気な挨拶

代表取締役社長
佐藤 清さん



事業にける情熱、日々の仕事の充実ぶりが感じられる取材となった。



急なお願いにも快く応じていただき、分析業務についても見学・取材することができた。

社名を変更したのは、事業分野の拡大に伴い、「浄化槽」という具体名が入っていない方が他の事業を展開しやすいと考えたからです。エルデックという社名は、大地・地球・世界という意味の「[erde]」と、賛美歌という意味の「[choral]」2つのドイツ語を組み合わせた造語で、地球・大地を大切にすることを、人間と自然のよい関係を未来へとつないでいきたいという思いが込められています。

— エルデックの一員として、社員の皆さんに大切にしてほしいと考えていることはありますか？

一番は、気持ちのよいコミュニケーションですね。当社の仕事は、個人宅や企業など、さまざまなお客さま先に訪問して行う場面が非常に多いです。元氣な挨拶でスタートし、お客さまのお話をよく聞き現場の状況を正確に把握することが、いい仕事をするためには必要不可欠です。また、当社の仕事の多くはチーム

で行いますから、これは社員同士にも言えることです。私自身、用がなくても社員のみなさんには積極的に声をかけることを心がけていますね。

— 高校時代にしていただいた方がいい経験、勉強しておいた方がいい分野はありますか？

業務に必要な知識や技術は、仕事をし始めればおのずと身につけていくので、高校生のうちは、何ごとにも素直な気持ち、真摯な姿勢で取り組むことを第一に過ごしてほしいですね。社会人になってからは、わからないことは質問をする、手が空いたらやるべきことがないか確認するなど、能動的に動く姿勢があるかなにか変わってきます。どうすればそのように動けるようになるか、高校生のうちから考えておいてみてもいいかもしれません。

— 当社に限った話ではなく、どんな仕事にも活かせることですか？

— 入社後、所属部署や担当業務はどの

ように決まりますか？

入社後は、半年から1年ほどかけて、さまざまな部署の業務を担当していただきます。その中で、希望を聞き、適性を見ながら総合的に判断し、配属先を正式に決定するような流れです。

— 社員の成長を後押しするような制度や取り組みはありますか？

業務上取得必須の資格については、費用面のサポート、取得後の給与への反映などを行っています。

— SDGsによる、世界的な持続可能性に対する機運の高まりは、エルデックさんにとっても追い風かと思えます。今後の展望について教えてください。

温暖化など気候変動による自然災害は増える一方で、地球規模の効果的な対策が急務です。蓄積してきたノウハウを活かし、人間と自然のよい関係を未来へとつないでいくための事業に、より一層力を入れて取り組んでいきたいと思えます。

取材後記

将来は廃棄物関連の仕事に就きたいと考えていて、とても勉強になりました。「建設業のように形に残る仕事ではないからこそ、いい人間関係を築くためのコミュニケーションが大切」という社長の言葉がとても印象的でした。(伊勢)

さまざまな事業を行っていることに、とても驚きました。技術さえあれば仕事はできると思っていましたが、コミュニケーションがとても大切だというお話を聞き、いろんなことに興味を持ちコミュニケーション力を磨いていきたいと思いました。(柳原)



株式会社エルデック
酒田市松美町3-70
tel.0234-34-3355
http://www.erdec.co.jp/

